

## 「学校における業務改善」

# 「南九州市立颯娃中学校」の実践紹介

### 効果が期待される取組

#### 勤務時間管理・意識改革に関する取組

#### 実施前の課題

- 多くの業務を抱え、時間外勤務を行うことが常態化していたため、勤務時間管理を意識付ける必要があった。
- 開校1年目は、諸資料等を最初から準備しなければならず、紙媒体の資料等も膨大なものになっていた。



#### 実施後の成果

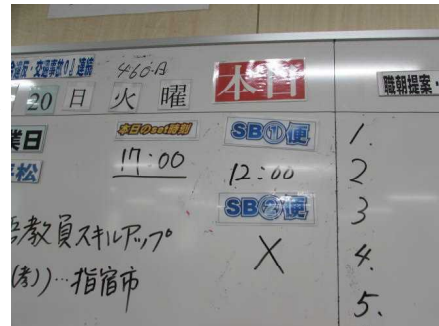
- 閉庁時間（防犯セット時間）の板書化（見える化）により、意識化が図られるようになった。
- 紙媒体は必要最低限にして、グループウェア（情報共有支援システム）を活用し、ペーパーレス化が図られるようになった。

### 業務改善を目指した取組の詳細

#### 令和元年度の取組

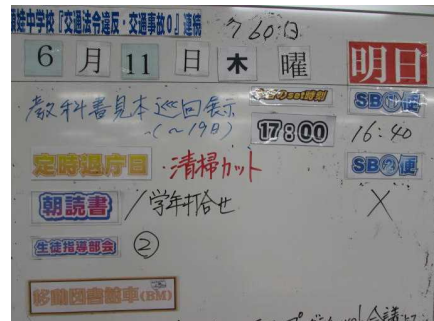
黒板に予めその日の、防犯セット時間を記入することにより、退庁時間の周知を知らせる。

業務の関係で退庁時刻を超えるものは、事前に教頭へ報告するなど、勤務時間の管理について意識化させた。



#### 令和2年度の取組

本年度から、ノ一部活動日を全部活動統一することにより、週内に「定時退庁日」を確実に設定することができるようになった。このことにより、計画的な部活動計画の推進と業務改善への意識化が昨年度よりもさらに図られるようになった。



#### ★学校評価から（令和2年度1学期の結果）

業務の効率化と改善を図り、自身で工夫を行っているか。教職員の75%が実践している。

- 各自がスケジュール管理を意識した働き方を行うようになった。

#### 今後の課題、計画

- 授業準備の効率化と時間確保に向けての週・月単位のスケジュールの立案と推進
- 部活動ガイドラインの完全実施と外部指導者の活用による負担軽減